

ふえーぬ風

発行 〒901-1105
 沖縄県南部農業改良普及センター
 南風原町字山川517
 TEL:(098)-889-3515
 FAX:(098)-835-6010



おきなわ花と食のフェスティバル2026開催

～果樹・花き・野菜品評会結果～

おきなわ花と食のフェスティバル2026にて、南部地区から多くの入賞がありました。また、赤嶺彰一氏がこれまでの活動実績が認められ、沖縄県農林漁業賞（園芸部門・個人）を受賞し、さらに「おきなわ島ふ～どグランプリ」ではさし草屋joy工房&茶屋が優秀賞（商品名：想いがよりそうまぜごはんのもと）を受賞し表彰されました。受賞者のみなさま、おめでとうございます。

今後とも、南部地区の農業振興とともに頑張りましょう。

第33回野菜品評会

受賞者	品目名	市町村	賞名
久保田 琢	きゅうり	糸満市	農林水産大臣賞
伊森 雅人	大型ピーマン	八重瀬町	内閣府沖縄総合事務局長賞
諸見謝 慎	中型ピーマン	八重瀬町	内閣府沖縄総合事務局長農林水産部長賞
瀬長 清	ミニトマト	豊見城市	沖縄県市長会長賞
金城 正長	大型ピーマン	八重瀬町	沖縄県農業協同組合代表理事理事長賞
赤嶺 道弘	トマト	豊見城市	沖縄県農業協同組合中央会会長賞
知念 保	さやいんげん（大型平ざや）	八重瀬町	沖縄県農業共済組合組合長理事長賞

第38回花き品評会

受賞者	品目名	市町村	賞名
金城 久美子	ストレリチア	南風原町	内閣府沖縄総合事務局長賞
徳元 貞二	トルコギキョウ	糸満市	沖縄県農林水産部長賞
仲嶺 稔	トルコギキョウ	八重瀬町	九州花き卸売市場連合会長賞

第22回果樹品評会

受賞者	品目名	市町村	賞名
仲里 明	アテモヤ	南風原町	沖縄協同青果株式会社社長賞
宮城 光雄	パッションフルーツ	南風原町	沖縄県果樹フェスティバル実行委員会会長賞
宮城 孝	スターフルーツ	南風原町	沖縄県果樹フェスティバル実行委員会会長賞

「おきなわ島ふ～どグランプリ」 優秀賞

商品名：想いがよりそうまぜごはんのもと
 （さし草屋joy工房&茶屋）



沖縄県農林漁業賞

園芸部門 個人 赤嶺彰一（豊見城市 マンゴー）

（園芸技術普及班 宮城明生）

サイインゲン ～栽培期間中に発生する病害虫と低温障害～

栽培期間中に発生する病害虫・低温障害の一部を紹介します。

病害 菌核病

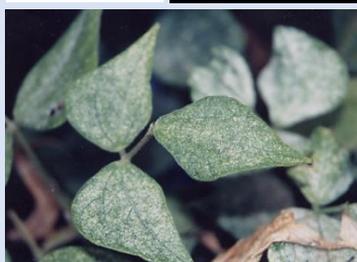


対策

- ☑**通気性**の改善を図る
- ☑**過繁茂**を避ける
- ☑罹病部（または株）は圃場外へ持出し、**処分**する
- ☑**適期薬剤散布**を行う

- ・11月下旬～2月の低温多湿時に発生が多い。
- ・株全体に発病する。水浸状の斑点が生じ、後に白色の菌糸で覆われ、菌糸上にネズミの糞状の菌核を作る。
- ・菌核が圃場に残ると翌年の発生源となる（数年間生存が可能）。

害虫 ハダニ類 チャノホコリダニ コナジラミ類 アザミウマ類



※高温乾燥条件で増殖する。チャノホコリダニは低温でも増殖。

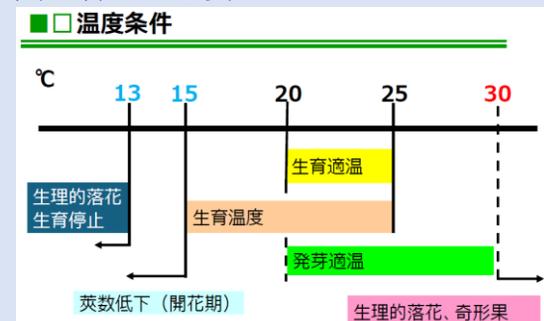
- ☑圃場内外の**除草**を行う
- ☑**早期発見、早期防除**に努める
- ☑同系統薬剤の連用を避け**葉裏までムラなく散布**する（ローテーション散布）

低温障害



- ・気温の寒暖差が急激に起こると葉や莢に褐変が発生する。
- ・特に、冷たい風が直接当たる位置（側窓等）で発生しやすい。

冬場でも15℃以下にならないように圃場管理が必要。



対策

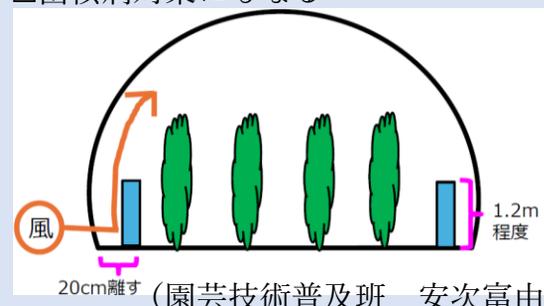


内張カーテン

- ☑**ビニール被覆**や**内張カーテン**※)、**2重ネット**による低温および風対策

※内張カーテン

- ☑設置時期：12月～2月
- ☑夜間は風下側の側窓を10cm程度開ける
- ☑菌核病対策にもなる



パッションフルーツ ～雨天・曇天時の着果率向上について～

パッションフルーツ（紫系品種）は、晴天日の場合、自家の花粉で受粉が可能です。雨天・曇天日が続くと着果率が著しく低下することがあります。

施設電照栽培において、販売単価の高い1期目（1～3月収穫）で多く収穫するために、下記のような雨天・曇天対策を徹底し、着果率の向上を目指しましょう。



黄化

着果失敗

着果成功

他系統の花粉の活用

赤系品種である南十字星や黄色系の花粉で受粉すると、雨天・曇天時でも着果率が向上します。

ハウスの樋下等の邪魔にならないスペースに植えることで、雨天・曇天時は花粉を集めて受粉できます。



南十字星の花



結果枝の摘芯

花芽と葉の養分競合を防ぐために、結果枝は棚上部から花芽を7～8個確保したら摘芯します。摘芯により、花芽が充実します。

また、枝の繁茂を防止できるので、その後の作業性が向上します。



摘芯

適正な整枝

樹の受光体制の改善や病虫害の発生を防止するために、不要な新梢は切除します。

また、結果枝当たりの着果個数の半分収穫後に発生する新梢は2期目（4～6月収穫）の枝として活用できます。



整枝後

参考：JAおきなわパッションフルーツ栽培マニュアル

スターフルーツ拠点産地の取り組み

沖縄県経営者協会主催のかりゆし塾36期生6班（DE∞GO：でいご）は、南風原町産スターフルーツを活用したクラフトコーラを那覇市の桜坂ブルワリーと共同で開発しました。炭酸とスターフルーツの爽やかさが際立つ味わいになっています。

塾では、地元の中高生と共にクラフトコーラ作り体験会や収穫体験も実施し、地域活性化や農業の課題解決に取り組んでいます。



（園芸技術普及班 宮城諒大）

1. さとうきび早期株出し管理について 収穫を終えた株の早期株出管理で次年度の単収向上につなげましょう。

株出し管理の適期は収穫後できるだけ早い時期（理想は収穫から1週間以内）です。委託作業が遅れる場合、自分でできる株出し管理を実施し、来年の単収向上を目指しましょう。

施肥 + 除草剤・粒剤散布 + 補植 3つセットで作業しましょう



ハーベスタ収穫後の早期施肥



土壌処理剤を散布し、雑草発生を予防



直ちに補植

2. 春植えを行った畑の除草管理について 雑草種に合わせた除草剤を選択して効果的に雑草防除を行いましょう。

植付後の圃場には土壌処理剤を散布し、予防的に雑草防除を行いましょう。

☑土壌処理剤とは

土壌処理型の除草剤を土壌表面に散布し、農薬の膜を作る。種子から発芽した雑草の芽や根が除草剤の膜に接触して枯死→種子繁殖の雑草に効果的。

☑畑の雑草種を確認し、除草剤を選びましよう。

代表的な土壌処理剤



広葉雑草用



広葉・イネ科用



ハマスゲ・カタバミ 専用除草剤



本島南部地域で春に発生が多い雑草の例：広葉雑草が多かった（R6調査）



ムラサキカタバミ
栄養繁殖（鱗茎）



オニタビラコ
種子繁殖



カタバミ
栄養繁殖（匍匐茎片）



ハマスゲ
栄養繁殖（塊茎）

(地域特産振興班 嘉手苧佳太)

牧草地の強害雑草 ギシギシ の防除

ギシギシは、

草地の生産量を低下させます

- ・タデ科の多年草。
- ・11月頃から冬期に生長が盛んになる。
- ・1株あたり約2万粒の種子を形成する。
- ・種子はすぐには発芽せず休眠し、発芽条件が整いしだい徐々に発芽する。
- ・落下した種子の防除には10年以上注意が必要。
- ・種子と根茎の両方で繁殖できる。



有毒です

- ・可溶性のシュウ酸カリウムを含むので、家畜が多量に摂取すると中毒症状を発することがあり、消化器粘膜への刺激、カルシウム欠乏症状、尿管閉塞などを引き起こす。

更新して1年未満のローズグラス草地の事例（糸満市）

年内最終刈取りから約1か月が経過した1月の牧草地では、ローズグラスの生育が緩慢となり、一方でギシギシの株が出始めてきました。株が直線的に増殖していたため、機械による収穫や耕起時に一定方向へ種子や残根が拡散された可能性があります。

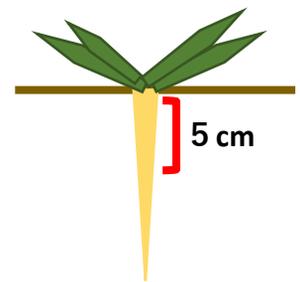
人力で掘り起こす

- ・株を掘り起こすと、種子から発芽した実生株と残根から再生した再生株がありました。
- ・地際から下に5cm程度の部分は萌芽力を有していると言われていたため、掘り取る際には地際から地下部5cm程度は必ず除去しましょう。
- ・根が残ったまま耕起すると広がります。



再生株

残根



地下部5cm程度は必ず除去

除草剤を散布する

- ・選択性除草剤ハーモニーをギシギシにスポット散布しました。
- ・散布4日頃までには葉が黄色く退色し、17日後には全体的に枯れてきました。
- ・ハーモニー以外にも牧草地においてギシギシに使用できる除草剤があります。
アージラン（選択性除草剤）
バンベルD（選択性除草剤）
ラウンドアップ（イネ科牧草も枯れるので使用方法に注意）



除草剤を使用する際はラベルに貼ってある使用方法を守りましょう。

ハーモニー散布後

HACCPの考え方を取り入れた衛生管理（小規模事業者向け）

小規模事業者でも、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理が必要です。食品製造の原料受入から出荷までの各工程ごとに、危害防止につながる監視・記録をしていくことが重要で、**全ての食品事業者の義務**です。

実施すること

1.衛生管理計画の作成

2.計画に基づく実施

3.確認・記録の実施

4.振り返りの実施

食品等事業者が、各自の業種に応じた「手引書」を参考に、衛生管理計画を作成・実行・記録し、問題があれば改善すること。

従来の「一般衛生管理」（施設の清掃、従業員の健康管理など）に加え、食品の安全性を確保するための重要な工程管理（加熱温度、冷却時間など）を記録、管理する。

○手引書を参考に衛生管理計画書を作成

厚生労働省HPの「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の手引き書」一覧の中から自分の商品にあったものを参考に作成する。



HACCP 手引書 業種別

検索

加工食品の食品表示

食品表示は、消費者が食品を安全に安心して選ぶ為の重要な情報源です。食品表示法に基づき、すべての加工食品には正確な情報表示が義務付けられています。小規模加工農家の皆様も、自身の生産物を消費者に届ける上で、適切な表示の知識は不可欠です。

1.名称

一般的な名称を表示

2.原材料名

- (1)添加物以外の原材料
- (2)アレルギーは量に関係なく表示
- (3)1番多い原材料に産地名が必要

3.添加物

添加物に占める重量の割合の高い順に記載

4.内容量

内容重量(g、kg)か内容体積(ml、l)か内容量(個、枚)を記載

5.消費期限または賞味期限

品質が急速に劣化する食品には「消費期限」それ以外は「賞味期限」

6.保存方法

開封前の保存方法を表示
※開封後の保存方法は枠外に記載

7.製造者・販売者など

表示内容に責任を持つ者の氏名(名称)及び住所、実際の製造所(加工所)の所在地及び製造者(加工者)の氏名(名称)を表示
※製造者等と販売者が同一であれば、販売者は省略可

8.栄養成分表示

熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量の5成分を表示（文言の変更及び並び替え不可）

※加工食品の表示は、容器・包装の見やすい箇所に原則日本産業規格(JIS)に規定する8ポイント以上の大きさで表示してください。

離島情報（久米島町）

1. 油断禁物！病害対策徹底の取組【かんしょ】

令和元年度以降、「サツマイモ基腐病」の影響による大幅な減産が続きましたが、対策の継続により、回復の兆しを見せております。しかし、**病害がなくなったわけではなく、油断は禁物**なため、引き続き苗消毒を基本とした総合的な対策徹底に取り組んでいます。（詳細は久米島駐在稲福まで）



土壌消毒



苗消毒



茎葉消毒



適期収穫

2. 令和7年度沖縄県青年農業者会議にて優秀賞を受賞！

久米島町農業青年クラブに所属する當間旭さんが沖縄県青年農業者会議プロジェクト発表部門で優秀賞を受賞。また、今年の7月に開催される九州大会への派遣も決まりました。

「久米島町における寒地型牧草の栽培と収益性」というテーマで冬季における粗飼料不足を解決するために寒地型牧草の栽培について取り組みました。内容としては令和5年度はかんしょ収穫後の畑にエンバク、令和6年度は既存のトランスパーラー草地にサブソイラで作った溝へイタリアンライグラスを播種しました。エンバクは収穫適期に刈ることが難しく牛の嗜好性が悪かった一方、イタリアンライグラスは牛の嗜好性もよく、今後も栽培を検討する結果となりました。



3. 令和8年肉用牛初せり 前年比平均価格26万up！

令和8年1月17日に久米島家畜市場で肉用牛せり市が開催されました。昨年の2025年1月のせりではメスの平均価格が35万だったのに対し、今回は**6.1万円**、去勢オスでは46万円に対し**7.0万円**に上がりました。この結果はひとえに農家の努力の賜物だと思います。また、購買者からも「**良い血統がそろってきている**」との意見を頂き、今後のせりに期待が持てる結果となりました。



「ぐしちゃんピーマン」生産振興による地域活性化の取り組み



安全・安心でめざせトリプル3！ ～単収・単価30%UPと化学肥料・化学合成農薬の3割減～



令和4年度～令和6年度の3年間、八重瀬町具志頭において、ピーマンのブランド化と次世代リーダーの育成を目的として『地域農業振興総合指導事業』に取り組んできました。これまでに、「GI認証の取得」、「天敵等を利用した減農薬栽培」、「環境測定装置活用の検討」などに取り組みましたが、まだまだ継続した取組が必要ということで、事業期間を延長して取り組んでいます。

引き続き、「安全・安心でめざせトリプル3！」を取組のスローガンとし、「グリーンな栽培体系」、「スマート農業」、「産地活動PR」の3つのワーキングチームを中心に、農業者や関係機関、関連事業と連携しながら地域活性化に取り組んでいます。



令和7年度事業推進会議

事業推進会議

〔事業推進の方向性と取り組み内容を検討〕

総合指導チーム会議

〔具体的な課題を検討〕



先進地視察（鹿児島県・宮崎県）

単収30%UP
スマート農業

化学肥料、
化学合成農薬
の3割減
グリーンな栽培体系

単価30%UP
産地活動PR

ピーマンハウスの環境モニタリングデータを活用し、施設内環境の改善による品質や単収の向上、自動開閉装置の活用による省力化等が期待できる。

減農薬・減化学肥料の削減について技術的な向上を図りつつ、栽培に関するアンケート調査等により、具志頭ピーマン栽培の特徴を明確化する。

具志頭ピーマン(大型ピーマン)のブランド化や認知度を上げるための販促やPR活動を行い、差別化販売、単価アップに繋げる取組。



環境測定装置の設置とデータ活用検討会（(株)KDDI、沖縄セルラー電話株式会社との連携）



太陽熱土壌消毒や天敵利用等についての勉強会の実施



イオくん煙器を利用したうどんこ病対策展示ほの設置（グリーンな栽培体系転換サポート事業との連携）



産活動PR検討会議



業者向け産地ツアー